



長い夏休みも終わり、子どもたちの歓声が学校に戻ってきました。笑顔が教室にあふれています。

暑い日が続き、熱中症など心配も多くありましたが、葛城校区では大きな事故やけがもなく学校に戻ってきた子どもたちの姿にホッとしています。期間中保護者や地域の皆様が子どもたちを見守りご指導いただいたおかげで、みんなで2学期を迎えることができました。本当にありがとうございました。

さて、今日から2学期のスタートです。2学期は1年間の中で最も長く、学習や運動に充実する時期です。その中で大いに体を鍛え、心を育み、基礎的・基本的な学力をしっかりと身につけてほしいと思います。また、行事やいろいろな取り組みを通して、仲間づくりを進め、すてきな学級を作っていってほしいと思います。保護者や地域の皆様には、行事や取り組みの中で、ご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

まだまだ残暑は厳しいようですが、体調に気をつけて、元気に登校してほしいものです。さあ、2学期もがんばりましょう。



P T Aバレーボール大会

7月27日(日)に第39回貝塚市P T A協議会親睦バレーボール大会が行われました。

葛城小学校チームは、木島小・第三中学校連合チーム、第一中学校チームと対戦しました。おしくも勝ち進むことはできませんでしたが、お父さんや子どもたちの声援を受け、お母さんたちは持てる力を出し尽くしプレーしました。さわやかな笑顔がいっぱいのすばらしいチームでした。来年はより一層の活躍を期待します。



平和登校日

8月6日に平和登校を実施しました。8時15分原爆投下時刻に合わせ全員で黙とうをささげた後、戦争の悲惨さ、平和の大切さについて子どもたちに話をしました。続いて、6年生の子どもたちが、「海をわたったヒロシマの人形」の絵本(テレビモニターの映像)の読み聞かせをしました。

その後、1・2年生は「おこり地蔵」、3・4年生は「おかあさんの木」「干からびた象と象使いの話」5・6年生は「はだしのゲン」のビデオ鑑賞を通して平和学習をしました。

どんなに時が経ようとも戦争の悲惨さ、平和の尊さを、後世に伝えていくのが我々の責務です。そのためにも平和学習をきっちりと進めていかなければと考えています。



5年宿泊学習

7月30日から2日間、5年生の子どもたちは宿泊学習として、淡輪の青少年海洋センターに行ってきました。

到着後すぐに、いかだ体験をしました。タイヤチューブに角材を固定し、いかだを完成、早速みんなで掛け声を合わせオールをさばき、海にこぎだしました。

夜には、予定通りキャンプファイヤーを、次の日は海での遊びも実施し、親元を離れ友達同士で過ごす貴重な体験をしてきました。本当に充実した2日間でした。



かつらぎ農園

6月に5年生と地域の方が一緒に植えた稲が元気に育っています。田植えの後、地域の方々に見守りをいただき、その時々いろいろとご指導をいただいています。その甲斐もあって青々とした稲が風にそよぎ中にはようやく稲穂が付き始めたのも見受けられるようになってきました。

またとなりの1・2年生と葛城幼稚園・葛城保育所の子どもたちが一緒に植えたサツマイモ畑では、蔓が一面に地面を覆い、秋の収穫を期待させてくれています。



—子どもたちの感想文の抜粋です—

ひろちゃんは、たのしいおたんじょうび日。せんそうでなくなつてかなしかつた。おこりじぞうもかなしかつたとおもいました。(1年生)

おこりじぞうが、せんそうをおこつてるのを見て、せんそうはだめだと思ひました。(2年生)

わたしは、せんそうをおこしそうになることは、ぜつたいにしないようにがんばるときめました。(3年生)

つぎつぎに人がなくなつていたり、生き物がなくなつていく戦争は、そんなにはげしかつたんやと思ひ、人の命を大切にあつかわなくちゃいけないんだと思ひました。(4年生)

戦争のこわさをいままで以上に知りました。いっしゅんにしてたくさんの人がなくなつたので、二度と戦争をしてはいけないと改めて思ひました。

この戦争を忘れてはいけないと思ひます。たくさんの犠牲者のためにもくとうをし、伝えていきたいです。(5年生)

原爆を投下されたその瞬間だけでなく、その後も人々を苦しませていることがこわかつたです。信じられない姿の死体でそんな人が何万人もいたということもこわかつたです。大人、子ども、動物そして生まれたばかりの赤ちゃんまでもが命を落とした戦争を見ているとこわくて、もう二度と、どんなことがあつても戦争をしてはならないと思ひました。(6年生)

